

ホームページへの掲載		
済	2月下旬	掲載予定

## 岐阜県立各務原西高等学校

学校長 虫賀 文人

学校住所 各務原市那加東亜町 24-1 電話 058-371-0123

1 会議の名称 平成28年度 学校評議員会（第2回） 兼 学校関係者評価委員会

2 会議の構成 委 員 松井 一三 十六銀行 各務原支店長（欠席）  
片桐 耕造 各務原中央ロータリークラブ会長（欠席）  
阿部 芳久 地域代表  
澤井 智子 本校元PTA会長  
平井 佳美 本校第1回卒業生

森 充広 本校PTA会長

学 校 側 虫賀 文人 校長  
大矢 晋 教頭  
山本 淳一 事務長  
土田 修三 教務主任  
向井 好美 生徒指導主事  
富田 充弘 進路指導主事  
橋本あゆみ 特別活動部長（欠席） 横山 彰（代理）  
國居 秀則 教務副主任（記録）

3 会議の目的 今年度の学校運営について、住民や保護者に情報を提供すると共に、幅広く意見や要望を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、来年度に向けての提言とする。

4 会議の開催 平成29年2月13日（月） 14:30～16:00  
各務原西高等学校 校長室  
評議員3名、委員1名、学校職員8名出席

5 会議の概要 (1) 授業参観  
(2) 学校長挨拶  
(3) 本日の日程の説明  
(4) 学校側説明（教務、生徒指導・進路指導・特別活動について）  
(5) 評議員からのご提言・ご意見  
(6) 諸連絡

### 6 会議内容報告

(1) テーマ 学校側説明（自己評価）

各分掌長から

- 1 教務部
  - a 授業改善とアクティブラーニングについて
  - b 総合的学習の取組について
  - c 学校評価アンケート集計結果について
- 2 生徒指導部
  - a 「安心」と「安全」を守ることにについて
  - b 社会の一員としてふさわしい倫理観と規範意識の育成について
- 3 進路指導部
  - a キャリア教育の充実について
  - b 進学実績の向上と安定について
  - c 「魅力ある高校づくり推進事業」について
- 4 特別活動部から
  - a 生徒会活動、ホームルーム活動、学校行事、部活動等の取組について

(2) テーマ 評議員からの提言、意見、要望等

- ア 授業は前回に比べてグループ活動が多く見られた。アクティブラーニングを意識してのことか。アクティブラーニングを実施する上で進捗や評価、手法に様々な問題があると思うが、学校はどうか対応しているのか。ゆとり教育の二の舞にならないように注意したい。  
(学校側から現状と今後の取組について、指定事業を踏まえて説明)
- イ グループ学習で生徒は楽しそうだったが、グループになじめないような生徒も見受けられた。グループ編成は一年間固定されているのか。そうであれば心配である。  
(学校側から実態について説明)
- ウ アクティブラーニングの授業では電子媒体などの利用で、授業に深みを持たせられるのではないのか。また、習熟度別授業を参観したが、もっと授業内容に明確な差があってもよいと感じた。  
アルバイトに関する方針の明確化(できる限り認めない指導の徹底)は必要であり、家庭問題を抱える生徒への対応は外部機関の協力を得ることも大切である。
- エ アクティブラーニング型の授業を参観したが、教師のスキルアップが必要であると感じた。  
生徒指導部の報告にあった不登校の状況をもう少し詳しく知りたい。  
(学校側から実態について説明)
- オ 服装の極端に目立つ生徒は見られなくなったので、引き続き指導をお願いしたい。ソックスで気になることがあり、規定を知りたい。  
(学校側から規定と現状について説明)
- カ 総合的な学習の取組について、もう少し詳しく知りたい。  
(学校側から取組について説明)

## 7 会議のまとめ

評議員、委員の方には日頃から本校に関心を持っていただき、具体的で明快な意見や質問が出された。本校に対する思いが語られ、それぞれの立場から、地域の中での学校の在り方や本校の目指す方向について示唆をいただいた。学校として課題と考えているところを改めてご指摘いただき、次年度における方向性がより明確化された。今回の貴重なご意見を参考に、より良い学校づくりに尽力し、成果につなげたい。